

1. ファインドアウトザナイトフライト シャウトイントゥアゲインスト

原曲：満月の竹林

孤独なウェアウルフ

湯気の立つほど熱いこの血も 呼吸止まるほど撃ち出す言葉も
意味一つ無い虚しい答えに向かうのか 逸れる
痛み恐れて躊躇うけれど 忘れられない約束はまだ 消えない

最期も知らぬまま一人立ち続けるのは
「きっといつか」に焦がれるにはあまりに長く耐え切れないものなんです
草の根が土を出る 身の程知らずの宴
冷たい夜露が染み込んでも これじゃあもう飲み干せないや
探し人 どこへ行く

最初は戸惑いで一人立ち尽くすけれど
もっと自分の可能性を広げられると意気込んでみたいものです
少しだけ強くなろう 瞳の奥に宿る幽かな炎
火種はどこから来たのかな 考えられるほど賢くない

(欠ける満ちる消える) 潜みて覗う (光り翳り廻り明けない夜空に)
野に吠え地を駆け (辿り走り去る) まだ胸を叩く止まらぬ鼓動に
(栄え滅び芽生え) 染まり褪ぎ舞え (夢現の端 彼は誰待つ間に)
朱の爪白の牙 (纏い届くまで) 整合性 稲妻も置き去りに

湯気の立つほど熱いこの血も 呼吸止まるほど撃ち出す言葉も
意味一つ無い虚しい答えに向かうのか 逸れる
痛み恐れて躊躇うけれど 忘れられない約束はまだ切れない
Stand up 満身創痕の体で未知を掴む

湯気の立つほど熱いこの血が 呼吸止まるほど撃ち出す言葉が
意味一つ無い答えも貫き通して 越える
痛み恐れて躊躇うけれど 忘れられない約束を今 果たそう
Stand up 満身創痕の体で未知を駆ける

(欠ける満ちる消える) 潜みて覗う (光り翳り廻り明けない夜空に)
野に吠え地を駆け (辿り走り去る) まだ胸を叩く止まらぬ鼓動に
(栄え滅び芽生え) 染まり褪ぎ舞え (夢現の端 彼は誰待つ間に)
朱の爪白の牙 (纏い届くまで) 果てなき闇を照らす色を